

1 現状の課題と政策の方向

中山間地域は、食料生産の場として重要な役割を担う一方、傾斜地等の条件不利性ととともに、人口減少や高齢化、担い手不足、荒廃農地の発生、鳥獣被害の発生といった厳しい状況に置かれており、将来に向けて農業生産活動を維持するための活動を推進していく必要がある。

一方、都市農業は、新鮮な農産物の供給のみならず、都市住民の良好な生活環境の保全にも寄与しており、その推進を図ることが必要である。

【政策の方向】

- ・高齢化や人口減少が著しい中山間地域において、農業・農村の有する水源涵養機能、洪水防止機能等の多面的機能を確保するため、農業生産活動を維持するための取組を支援する「中山間地域等直接支払交付金」や、多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現や、地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承に向けた、意欲ある農業者の取組を総合的に支援「中山間地農業ルネッサンス事業」等により推進。
- ・都市農業の安定的な継続のため、都市農業基本法に基づき、都市農業の取組事例の紹介のほか、「都市農地の貸借の円滑化に関する法律」による新たな制度の普及・啓発、農山漁村振興交付金（都市農業共生推進等地域支援事業）による住民と共生する農業経営の実現や都市農業の情報発信、都市農地の防災機能を強化するために必要となる簡易な施設整備等により推進。

2 関東管内の取組状況

(1) 中山間地域農業の振興

中山間地域等直接支払制度

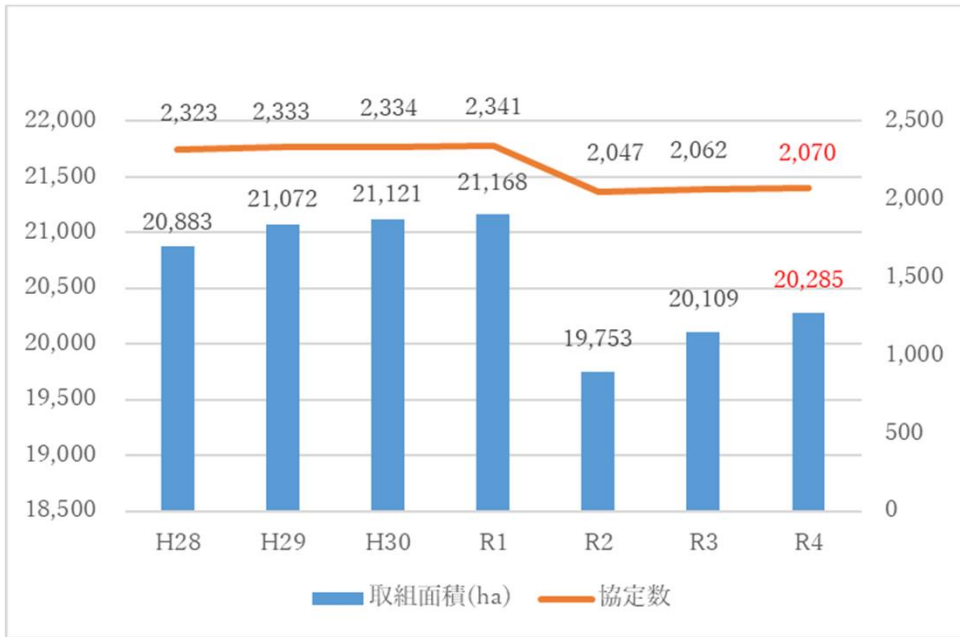
(取組の概要)

中山間地域等直接支払制度については、令和2（2020）年度より第5期対策が開始。令和5（2023）年3月現在で、関東管内の171市町村で、2,070協定（集落協2,040、個別協定30）が締結され、2万285ha（集落協定1万9,747ha、個別協定538ha）の農用地で、農地の法面管理、水路・農道の管理、周辺林地の下草刈及び景観作物の作付などの取組が実施されている。

第5期対策の4年目であり、前年度に比べ、協定数では0.4%の増加、取組面積では0.9%の増加となった。



【図表4-2-1】 関東管内の中山間地域等直接支払制度の実施状況



資料：農林水産省調べ

* 中山間地域等直接支払制度に関する詳しい内容は、こちらをご覧ください。
<https://www.maff.go.jp/kanto/nouson/sekkei/index.html>
 (関東農政局)



* 中山間地農業ルネッサンス事業に関する詳しい内容は、こちらをご覧ください。
http://www.maff.go.jp/j/nousin/tiiki/sesaku/renais_tyusan.html
 (農林水産省)



(事例) 中山間地域農業の振興に関する取組事例

◆共同機械の冬季利用で高齢者を支える 【群馬県みなかみ町 小和知集落協定】

○概要

集落の高齢化が進行する中、冬季に一晩で60cm超の降雪がある当該集落は、町道から庭先までの距離が長く、除雪作業は高齢者に大きな負担。また、高齢化を理由に稲作経営を断念する農家が増加するなか、農地の荒廃化は鳥獣被害拡大を招く要因。営農を断念させない取組が喫緊の課題。

【面積：12ha、参加者：42人、協定開始：H12～】



○成果

共同取組活動として導入した3トンのホイールローダーを農閑期の冬期間に活用し、高齢者世帯、集会施設の除雪作業を実施し、非農家を含め、地域の「支え合い精神」により集落機能を維持。また、共同機械の導入により農地を集積し、共同生産した米を学生寮に販売。



◆農業用ドローンを活用したスマート農業、省力化の推進 【静岡県小山町 湯船地区集落協定】

○概要

農業就労者の高齢化、後継者不足が深刻な地域で、特に夏場の農作業に支障があり、山地に挟まれているためカメムシ等の侵入・被害を受けやすく、圃場整備により圃場の集団化は図られたが、畦畔の法面段差が大きく、無人ヘリによる農薬や肥料の散布が困難。

【面積：11.5ha、参加者：26人、協定開始：H17～】



○成果

無人ヘリに比べて小回りの効くドローンを導入し、ブロックごとに農薬の空中散布を集落内若手農業者により実施することにより、真夏の炎天下での農作業を回避でき、熱中症などのリスクを低減。また、精密農業(見える化)による農作物の生育状況調査の実施によって、作物の品質、収量の向上、肥料の使用量低減に期待。



* その他の取組事例については、こちらをご覧ください。

https://www.maff.go.jp/j/nousin/tyusan/siharai_seido/s_torikumi/r0501.html
(農林水産省)



(2) 多様な機能を有する都市農業の振興

(取組の概要)

関東管内の本法律に基づく令和4（2022）年度の事業計画の認定等の状況は、借りた生産緑地で自ら耕作の事業を行う場合は5都県54市区町で314件（全国の約6割）、借りた生産緑地で市民農園（貸し農園）を開設する場合は5都県32市区で農園区画数は7,127区画（全国の約7割）となっている。

また、管内で令和5（2023）年度に農山漁村振興交付金を活用し、マルシェ等の開催による都市農業の情報発信が2団体、都市における農村ファンの拡大に向けた取組が2団体、有機農業等の普及に向けた取組等が2団体となっている。

【図表4-2-2】 都市農地の貸借の円滑化に関する法律に基づく事業計画の認定等の状況（令和4（2022）年度）

①借りた都市農地で自ら耕作の事業を行う場合

都県名	市区町村数	事業計画の認定状況	
		件数	面積 (㎡)
埼玉県	6	11	38,340
千葉県	7	15	33,691
東京都	30	254	448,170
神奈川県	10	32	60,315
静岡県	1	2	4,923
関東計	54	314	585,439
全国計	86	510	857,586

②借りた都市農地で市民農園（貸し農園）を開設する場合

都県名	市区町村数	特定都市農地貸付けの承認状況		
		件数	面積 (㎡)	農園区画数
埼玉県	5	8	12,104	755
千葉県	4	5	17,064	777
東京都	16	32	48,607	4,152
神奈川県	6	12	17,403	1,207
静岡県	1	3	2,547	236
関東計	32	60	97,725	7,127
全国計	50	108	154,922	10,219

【図表4-2-3】 農山漁村振興交付金（都市農業共生推進等地域支援事業）実施状況（令和5（2023）年度）

事業実施主体名	取組地域	実施年度	取組メニュー
合同会社小田原かなごてファーム	神奈川県小田原市・茅ヶ崎市	R04～R05	【地域支援型】 マルシェ等の開催
小田急（株）	神奈川県座間市	R04～R05	【モデル支援型】 有機農業等の普及
エマリコくにたち	東京都多摩エリア （国分寺市、国立市、三鷹市）	R04～R05	【モデル支援型】 農村ファンの拡大
一般社団法人都市農地活用支援センター	東京都八王子市、兵庫県川西市	R04～R05	【モデル支援型】 農村ファンの拡大
農と親しみ江東区の共生社会を考える協議会	東京都江東区	R05～R06	【都市農地創設支援型】農的空間の創出
株式会社ネイバースファーム	東京都日野市、国立市	R05～R06	【地域支援型】 マルシェ等の開催

* 都市農業の推進に関する詳しい内容は、こちらをご覧ください。

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/tosi_nougyo/t_kuwashiku.html

（農林水産省）



* 農山漁村振興交付金（都市農業共生推進等地域支援事業）の詳しい内容は、こちらをご覧ください。

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/tosi_nougyo/hojo_gaiyou.html

（農林水産省）



* 都市農地の貸借の円滑化に関する法律に関する詳しい内容は、こちらをご覧ください。

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/tosi_nougyo/toshi_taisyaku.html

（農林水産省）



（事例）多様な機能を有する都市農業の振興取組事例

◆子育て世代の女子新規就農者【東京都あきる野市】

○ 概要

FUDO AKIRUNO園主の佐藤睦美さんは、東京都農林水産振興財団が運営する東京農業アカデミーでの研修（2年間）を終え、令和5年4月にあきる野市で新規就農。

『あきる野のフード（食べ物）とふーど（風土）を届けたい』という思いが農園名の由来。

管理栄養士の資格を活かし、将来は農業を通じた地域貢献や食育を目指す。



○ 成果

農地中間管理機構を通じて借りた農地（約35a）で、施設栽培のミニトマトと露地野菜の生産に取り組み、消費地に近いという利点を生かした新鮮な農産物を供給。ミニトマトは、甘みが強く酸味が少ないが、皮が薄く輸送に気を遣う品種「プチぷよ」を栽培している。

◆都市部で環境にやさしい農業の実践（さかい農園）【東京都練馬区】

○ 概要

農園施設ではヒートポンプを活用し、燃油の消費量を抑えてハウス内の必要最低温度を保ちながら、トマトなどを栽培。

都内の牧場から購入した牛糞たい肥を使用した土づくりにも取り組み、農薬の使用を極力減らし、地域と環境に配慮した営農を展開。



○ 成果

子供たちが安心してブルーベリーの摘み取り体験を楽しむなど、農業体験・交流活動の場の提供に加え、消費者の反応を直に感じながら都市農業を展開している。

* さかい農園のInstagramは、こちらをご覧ください。

<https://www.instagram.com/sakai.farm/>

